

補助金等のあり方について

(総務消防常任委員会・所管事務調査報告)

平成30年3月

高松市議会

高松市議会では、毎年度、常任委員会ごとに、委員会の所管事項のうちからテーマを設定し、閉会中継続調査（所管事務調査）を行っております。

そこで、総務消防常任委員会としては、平成 29 年度の調査テーマを「補助金等のあり方について」に決定し、鋭意、調査検討を重ねた結果、このたび委員会として調査結果を取りまとめたので、以下、報告いたします。

1 現状及びテーマ選定の理由について

補助金等については、これまで議会において、種々課題を取り上げてきたほか、チェック機能としての議会の役割を果たし、補助金の、より適正な執行や透明性の確保とともに、補助金本来の目的達成に向けて、抜本的な改革に取り組む必要があるとの観点から、平成29年6月20日の委員会で所管事務調査テーマに選定しました。

2 委員会等の開催状況及び活動内容について

(1) 総務消防常任委員会

- ① 平成 29 年 8 月 30 日 当局から、本市の補助金等の現状、及び補助金等見直しの経緯等の説明・質疑応答

〔当局の説明概要〕

平成 16 年 9 月に、補助金の性質別分類に基づく見直しを初め、第三者機関による審議や、補助金の検証等を盛り込んだ、高松市補助金等交付システム見直し基準を策定した後、平成 22 年 10 月に、この見直し基準を補完するものとして、10 年以上前から補助しているものについては、廃止または 3 年以内の終期を設定するなど、より踏み込

んだ内容を定めた、高松市補助金等の見直し方針を策定し、さらなる補助金の適正な執行や透明性の確保に努めてきた。

また、行政評価結果の活用として、事務事業評価において、その事務事業を実施するための補助金を含めて評価した結果をホームページ等で公表するとともに、主要施策の成果等として議会に対して説明している。

このような経緯を経て、平成 22 年の高松市補助金等の見直し方針を策定以降、一般会計における今年度の補助件数及び金額としては、件数では 3 件の減、補助金額では約 3 億 6,000 万円の減で、特別会計を含めた補助件数及び金額は 532 件、約 67 億 3,500 万円となっており、そのうち、一般財源を財源とする市単独補助は約 32 億 4,900 万円である。

また、補助金の性質別分類では、今年度予算においては、運営費補助が約 9 億 300 万円であるとの説明があった。

- ② 平成 30 年 1 月 11 日 先進地視察後の委員間討議
- ③ 平成 30 年 1 月 26 日 取りまとめ案の確認

(2) 視 察

平成 29 年 11 月 22 日 先進地視察

○下関市

- ・補助金見直しの経緯について
- ・補助金見直しの内容について
- ・下関市補助金ガイドラインについて



3 委員会としての提言内容について

〔3月5日の委員長報告（閉会中継続調査終了）〕

- ① 各補助金等の検証や見直し状況等について、市民に、よりわかりやすく説明できるよう、補助金等の見える化を推進すること。
- ② 補助金等の見直しの目的は、削減することではなく、適正化、透明性の確保を図ることとするよう留意すること。
- ③ 高松市補助金等交付システム見直し基準、及び高松市補助金等の見直し方針では、各課で見直しを行うようになっているものの、今後は議会のチェック機能も果たせるよう、委員会等での報告の仕組みを検討すること。
- ④ 終期（補助期間）の設定について、一律の期間で終了するだけでなく、定期的に見直すという周期（サイクル）の概念も取り入れること。